

二〇七四年十一月二十五日

今日、シンジョーには、楽しみにしている
ことがあった。それは、道德の授業である。
六年記組の担任・ネモトさんは、この日のた
めに一ヶ月以上前から準備をしていた。
日本の子供が起こす問題行動が増えてから、
小学校では年に五回以上、道德の授業研究が
行われるようになった。扇小では、今年は七
回の授業研究が予定されており、今日の授業
は二回目である。授業研究なので、校内の先

生はもちろんのこと、他校の先生や教育長・
市長・市議会議員もオンラインで参観する。
ケイブルテレビも毎回取材に来る。オンライン
を含めた本日の授業参観者は百人を越える
予定である。
シンジョーが楽しみにしている理由は、た
くさんの人が見に来てくれるからではない。
ネモトさんが熱心だからである。きつと、ク
ラスの子は本気で考え、本気で語り合うと期
待しているのだ。
ネモトさんの道德の授業は、いつも授業にな
子供が熱い議論をすすめる。今日もいい授業にな

校長室に戻ったシンジヨールは、すぐにタブ	送られた。	子や先生、さらに教育長からも「いいね」が	拍手が起こった。オンラインで参加している	はないが、子供たちや先生たちから、大きな	鳴り始めた。授業は終わった。珍しいこと	授業終了の音楽「世界に一つだけの花」が	ると、ネモトさんの目は、さらに赤くなった。	った「などのメッセー」が画面に映し出され	生ありがとう」「ネモトさんのクラスでよ	オンラインで参加していた子の中から「先	いていた子の中からもすすり泣く声でした。	ネモトさんの目から、涙が少し流れた。聴	みんなのおかげ、ありがとう。」	三つの挑戦をして、三つの夢が叶いました。	ること。	れないようなクラスの先生になる挑戦をす	「誰にでも自慢ができる、五十年たっても忘	して、続けた。	参加している子、全員と目が合うように見回	ネモトさんは、教室の子、オンラインで	そして三つ目は・・「	で語り合えるような授業に挑戦すること。
----------------------	-------	----------------------	----------------------	----------------------	---------------------	---------------------	-----------------------	----------------------	---------------------	---------------------	----------------------	---------------------	-----------------	----------------------	------	---------------------	----------------------	---------	----------------------	--------------------	------------	---------------------

